

夏の怪談「かくれんぼ」

登場人物：

男 A(犬飼 猛：愛称 もうちゃん)

男 B (三井津啓太：愛称 ケータ みい)

女 C (真田たよ：愛称 マーダ)

本人 (あなた)

(入場する前に、登場人物をしっかり紹介しておく)

約束事：霊があなたを探してしまうので、決して声を発しないでください。

ナレーション

「ようこそホラーボックスへ……。あなたは今から友達と肝試しに出かけます。
フフフッ。

気をつけて行ってらっしゃいませ。フハハハハッ。フハハハハッ。」(酒に焼けたようなだみ声)

車中(深夜)

音 音楽 (3秒ぐらい流してから音を小さくして消す)

音 車の走る音 (自分の車の音、すれ違いの車の音)

猛 「なあなあ、この辺になんかおもしろいところないん？」

たよ 「このすぐ先にカラオケBOXがあるよ」

猛 「えー！カラオケはええわ…。昨日も行ったところやし」

啓太 「あっ、もうちゃん！あそこの山に廃墟なかった？子供の霊が出るとかい
う？」

猛 「それええなあ。そこ行こっ！！」(テンション高め)

たよ 「絶対嫌！そんなんやったら私帰るしっ！(断固拒否) 犬飼の馬鹿」(つ
ぶやくように)

猛 「たよ。ここからは歩いて帰れんでっ」（いじわるく）

たよ 「はあ〜？」（猛のいじわるな発言に完全に切れる たよ）

啓太（すかさず二人を宥めるように）「まあまあまあ、そんなモメント い
こいこっ」

効果（5秒無音）

（ブレーキ音。エンジンが止まる）

廃墟の近くに到着。・・・しかし車は行き止まり・・・

啓太 「あれ？行き止まり？」

猛 「ここからは、茂みになつとるし車では無理やから、歩きやつ」

たよ 「やっぱ無理。帰ろうっ！」（先ほどの強い口調とはちがい怯えるように）

猛 「いまさら何言うとなや」

たよ 「なあ。みい（三井のこと）かえろうっ？」

少し間があり・・・

音 バタンッ（車の複数のドアを閉めた音）

（5秒無音で）

～山～

音 （山の中のいろんな音 虫の声、草の揺れる音、鳥の声）

音 （茂みを踏み分ける足音）

闇から鳥が飛び立ち、一堂がタジログ

音 ヒョオオオー（風の音） 仕 首筋に風

啓太 「おお、薄気味悪うう…」

猛 「啓太！なに怖がってるんや」（そういう猛も声は少し震え気味）

啓太 「真っ暗で 前が よう見えん」（おちつきなく）

音 ペタッペタッペタッ（遠くからサンダルで走ってくる足音。） 急ぎ足で近づいてくる

たよ 「待って。置いていかんといて！」（ほとんど泣き声）

音 （茂みを踏み分ける足音）

音 ヒョオオオー（風の音） 仕 首筋に風

啓太 「こうゆう風が生温かい時って、幽霊が出るら・・・」

たよ 「啓太！もおー！やめて！」（啓太の言葉を遮るように）

猛 「でも、ほんまに出そうや。ってかもう俺らの背後に」

音 ゴロゴロゴロドン（雷） 仕 稲光（猛がいかけたところで 偶然、自然現象）

たよ 「キャー」

音 ぽつぽつ（木々の葉っぱに雨が当たる）

音 ゴロゴロゴロー（雷） 仕 稲光（ふたたび）

猛 「夕立か？」

たよ 「なあ、やっぱり帰ろ！！」（ひどく焦燥しているが雨音にかき消され二人には聞こえない）

ザーッ（雨が強く降ってくる）

猛（大声で）「ケータ！マーダ！あそこに、小屋があるっ！さっき一瞬光ったときに見えた」

音 ゴロゴロー… 仕 フラッシュ 音 ザァァァァァァァァァァ 仕 霧吹き

激しい雨音

猛 「ウワッ！本格的に降ってきた！走るぞ！」（一堂走る、荒い息）

音 ビシヤッ ビシヤッ（雨の中を走る音）

雨音

（3秒ぐらい雨音だけ、そのあと少し雨音のボリュームを下げる。屋根の下に入ったイメージで）

～廃墟～

啓太 「ハア…ハア…、なんやこの天気！」

たよ 「あっ！ここは…」（愕然として）

猛 「ここは 噂の廃墟やな(少し嬉しそうに)… よし！探検しよう」

音 ギィィー… バタンッ（古びたドアを開閉する音。閉めると同時に雨音を消す）

啓太 「うわっ。真っ暗。やばくない？」

音 カサカサ

たよ 「ウワッ！なんか…いるう！」（泣きっ面に蜂状態）

音 チューチュー（ネズミ） 仕 足にビラビラ

啓太 「なんや。ねずみやんか」（少し安堵の声）

猛 「ケータ、なんか照らすもんあるか！」

啓太 「おお、ライターならあるけど？」

猛 「ちょっと 火 点けてみて」

音 ガサゴソ… (カバンの中を探す音) カチッカチッカチッ ()

啓太 「あれ？湿って点かん」

猛 「ちっ」(悔しそうに舌を鳴らす)

音 ゴロゴロー… 仕 フラッシュ

たよ 「あっ、い、井戸が」(なぜか恐怖におののく)

啓太 「うん。今光った瞬間、窓越しに井戸が見えた」

音 コツッコツッコツッ (歩く音)

猛 「井戸がどうしたんや？」

啓太 「フッ…、この廃墟はな…昔子供達の遊び場になってたらしい。あるとき、かくれんぼをしていて、鬼役の子が、忽然と姿をくらました。みんなは鬼の子が探しに来ないから、先に帰ったもんだと、その子を置いて帰ってしまった。でもその子は、家に帰ってなかった。搜索願も出されて、みんなで必死で探してたら、この井戸の中で死んでたんだって…。」

たよ 「それは、本当にあった話なのよ！私はそのとき一緒に遊んでいたの！！」(訴えるように)

啓太 「え！？まじで！？」

たよ 「いまでも 隠れてる人を探しているって・・・みんな言ってる」(放心状態寸前に)

仕 ガタタタタタッ (機動く)

たよ 「あれ？犬飼がない！」

啓太 「どこいったんだ？ も～う～！？」(叫ぶように)

たよ 「いぬかい」(叫ぶように) 二人の猛を呼ぶ声が「もういいかい？」に聞こえる。

(音響効果) 子供の声で「もういいかい？」(エコーを思いっきり聞かせて)

啓太 「まさか！子供の霊に？」

たよ 「やめて～！」

音 ゴロゴロー… 仕 フラッシュ 叫ぶと同時に雷がなり、気がつくと 今度は たよ の姿がない！

音楽 (恐怖をそそる音楽)

啓太 「マーダ？あれマーダ？」(恐怖におののいた声で)

音楽 (恐怖をそそる音楽) ボルテージ上げて

啓太 「マーダ！(少し時間を置き違う呼び名で) たよー！！！」(恐怖を打ち消すように大声で)

(音響効果) 子供の声で「まあだだよ？」(エコーを思いっきり聞かせて)

音 ガタガタッダッダッダッ (大慌てで椅子をこかしながら逃げる音)

音 ガチャガチャガチャ (ドアノブ回す音)

啓太 「た、助けてくれえ」(がたがたふるえながら)

(音響効果) 子供の声で「もういいかい？」(エコーを思いっきり聞かせて)

(音響効果) 子供の声で「まあだだよ？」(エコーを思いっきり聞かせて)

啓太 もういちど「助けてくれえ。だ、だれをさがしているんだ！？」

(がたがたふるえながら幽霊に話しかける)

猛の叫ぶ声 「ウワー！」

たよの叫ぶ声 「キヤー！」

子供の笑い声

(無音を 3 秒)

霊 「三井津啓太 (みいつ けーた) …」 (低音ボイス) ここで来場者の方を
人形の手で

子供の笑い声

仕 椅子ガターン

啓太 ギャーーーーー！！

改めてかくれんぼの登場人物

男 A (犬飼 猛: もういいかい)

女 C (真田たよ: まあだよ)

男 B (三井津啓太: みいつけた)